

世界で一番幸せな国 バヌアツ共和国

活動報告

自己紹介

氏 名 因幡 智寿子(いなばちずこ)

プロフィール

～2006.3 名古屋市立の中学校で

保健体育の教員として勤務

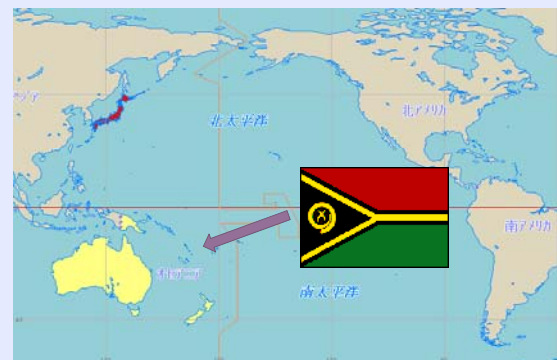
2006.4～2008.3 青年海外協力隊員として

バヌアツ共和国に派遣

2008.4～ 職場復帰

バヌアツ共和国ってどんな国？

バヌアツってどこにあるの？



ヴァヌアツ(VANUATU)の概要

面積	12,200Km ² (新潟県とほぼ同じ) 83の島から構成される。
人口	約 23 万人
時差	日本より2 時間早い
宗教	キリスト教
歴史	1980年に独立 それまでは英国と仏国の共同統治

バヌアツの言語

公用語 英語・フランス語・ビスラマ語
各島・村に100以上の独自の言語

ビスラマ語の例:

こんにちは Halo (ハロー)

さようなら Lukim yu (ルッキム ユー)

ありがとう tanku tumas(タンキュ トウマス)

バヌアツ人について

- * 顔は怖い。いつもニコニコしている人は少ない。が、お互い**必ず挨拶**をするなどとてもフレンドリー。こちらがニコツとすると**相手も笑う**。
- * 日本人に似ていて**とてもシャイ**。恥ずかしがり屋だが、突然大胆になったりしてびっくりすることもある。
- * 思ったことはあまり表面だって**言わない**。
- * **ファミリー**をととても大切にする。大家族が多い。



バランス感覚①

バヌアツ人との距離感の取り方

- * 下心なく、本当に優しく、困っていると必ずみんなが助けてくれる。
- 最初は、あまりにも**親切すぎて**、後から何かを要求されるのではと**疑心暗鬼**の連続。
- あまり特定の人ばかりと仲良くしていると、**周りの目**が気になることも。
- 後半は色も黒くなり言葉にも不自由しなくなって、バヌアツ人に近づいたと自分は思っている、**やはり私は日本人**。

バヌアツの特徴

- * **チーフ制(酋長制度)**
 - ・ 必ず村にはチーフがおり、かなりの力を持つ。田舎に行くほど顕著。
 - ・ チーフが村をまとめ、警察が介入しない場合もある。

@ バヌアツの刑務所は、
土日は帰宅OK
平日外出OK



バヌアツの伝統と文化

島によってさまざまな違いが

アイランドドレス(女性の普段着)



バランス感覚②

どこまで強要しても・・・？

- 現地の人たちは、現地の中に入り込む生活を非常に喜んでくれますが・・・
- * スポーツをする時に
アイランドドレスを着ていることに抵抗が・・・
- * アイランドドレスでスポーツをする彼らに
どこまで強要してよいのか・・・

その国のやり方をどこまで許容して、
どこまで一般論を強要するのか・・・。



バヌアツの食べ物事情(炭水化物！)

基本はイモとバナナ！



ご飯+インスタントラーメン





バヌアツのNO.1 マーケット



時々こんなものも食べます・・・
～フライングフォックス～



バヌアツの自然



首都 ポートビラ



美しい海と山



ブルーホール



世界一近くまで行ける火山



バヌアツの教育事情

バヌアツのこども



学校は月～金
毎朝7:30から始まります。
1教科の授業時間は90分。
僕たち、そんなに集中できません！

バヌアツの義務教育

- * 2006年度より**6年間の義務教育が8年間**に。現場は混乱？
小学校6年間 (Year 1～6)
→ 小学校8年間 (Year 1～8)
- * セカンダリースクールやカレッジ (Year 7～) が存在。
小学校にも中学校にも同じ学年が存在している状況。
→ 将来的には、**Year 7・8**は小学校にのみ設定
セカンダリーやカレッジはYear 9からに。
- * Year 8終了時にナショナルイグザムを行い、
進級(進学)できるかどうかの判定を行う。
- 義務教育といふものの授業料を払わなくてはならず、
続けられない子供も多数。

私の活動報告

JOCVとしての活動

- ① 教員養成大学で教師の卵を教える
 - a: 体育の教え方を教える
 - b: 保健分野の知識を教える
 - c: 大学の体育指導シラバスの作成
- ② 体育教員として小学生に体育の授業を行う
- ③ JOCV保健体育部会の部員として
ワークショップを行う
- ④ 日本文化の紹介、原爆展の開催
- ⑤ 大学のプロジェクトに参加

a: 先生の卵に体育の教え方を教える



b: 保健分野の授業



彼らは卒業後、どんな僻地に赴任するかわかりません。薬品や病院不足の一助になればと思いました。



日本赤十字社や現地のNGOにも資料提供などの協力をお願いします。

バランス感覚③

保健分野どこまで教えれば・・・

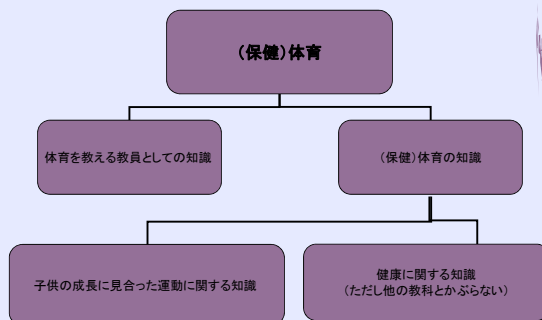
- * 将来的に僻地で教員をする彼らにどこまで教えればよいのか・・・。
- 他教科と話し合いをしてリンクしないところ、すぐにでもできる応急処置を教材に。

日本では常識とされることが

バヌアツでは非常識ということも。

日本の常識をどこまで通用させるのか？

C: 大学の体育指導シラバスの作成



②小学生に教える



③保健体育部会

- * 10年以上、隊員が派遣され体育の普及を図っているのになかなか定着しない
 - ↓
- * 原因の1つとして・・・
 - 先生自体が体育を習っていない世代
 - ↓
- * 生活と密着させて体育の大切さを伝えてはどうか
 - ↓
- * 保健関係の隊員と協力して保健体育部会を設立
 - ↓(初の試み)
- * 公衆衛生と体育(運動)の
コラボレーションワークショップ

③ワークショップ



バランス感覚④

どのくらいの割合で力を入れれば・・・

- * 赴任して半年間は、体育隊員は自分一人。
最初は、赴任地の仕事を100%で行っていたが、後半は体育隊員も増え、保健体育部会を立ち上げてそちらでの活動にも力を注いだ。

→ 赴任地での活動とJOCVメンバーとして
部会の活動の比率
どちらも頑張りたい！というジレンマ

④日本の文化を伝える(JAPAN WEEKの開催)



バヌアツ人がバヌアツ人に
着付けを行っています！



バランス感覚⑤

日本人として・・・の自覚？

原爆展やJAPAN WEEKなどの催し物を行ったが

- * いろいろな質問にまともに答えられない自分
- * 日本のことを何もわかっていない自分
- * 世界に出る前に、自国のことを知らなさすぎる
自分は日本人としてどうなの？
- * 「恥ずかしい日本人の輸出」になっていない？

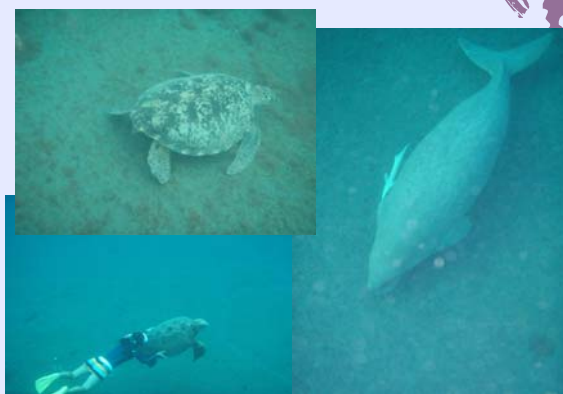
⑤大学のプロジェクトに参加
～バヌアツの伝統を残そう！～

先日、世界遺産に登録されました！



私のリラックス法

海・海・海 & カヴァ



KAVA (リラックス効果◎)



バヌアツの社交場
大統領も来ます！



帰国後の活動について

1. 学校の総合学習での活用(中3:進路学習など)
 2. 大学での講義
(バヌアツの公衆衛生事情・教育事情)
於: 赤十字広島看護大学、広島大学体育会
 3. 会報誌(大学)・研究会誌などへの寄稿
 4. 卒業生: 国際関係の論文に協力
 5. 学校作品展への出品
 6. ワールドフェスタ(文部科学省ブース)への参加
 7. JICA関係(任国事情講座、募集説明会など)
- <今後の予定>
8. 他学年での総合学習への活用
 9. 何か自分の経験を伝えられる機会があれば

活動全体を通して

<大変だったこと>

- * 生活環境(やはり日本とは大きく違う)
- * コミュニケーション(言葉の壁)

* バランス

(心と体、日本人として、他人との距離・・・)

<良かったこと>

- * 気長に待てるようになった (短気だった自分が)
- * 幸せのバロメーターが自分の中でできた
(価値観の変化)
- * 自信が持てるようになった (こんな私でも！)

ご静聴、ありがとうございました。